

一カク



アメリカ婦人会総会

去る5月20日、アメリカ婦人会総会が伝道庁にて開催されました。当日の様子はオンラインにてライブ配信されました。

天理教アメリカ伝道庁

No.907

JUNE
2023



tenrikyo.com



つらつらせんがく 熟々浅学



— ChatGPT —

今月 23 日から 25 日まで、カリフォルニア州パームスプリングス市に於いて、天理教フェイスカンファレンス・ソウルファイアを開催します。このカンファレンスが、管内のみならず英語圏、また英語圏以外での天理教の発展に寄与できるようになればと思っていますので、どうぞ宜しくお願いします。

また、来月（7 月）の 15 日にアメリカ青年会総会が開催されます。一人でも多くの青年会員に参加してもらいたいと思っています。

さて、アメリカの会社、「OpenAI」が開発した AI（Artificial Intelligence：人工知能）を利用するチャットボット（Chatbot：自動会話プログラム）の ChatGPT が世間を賑わしています。

今年（2023）4 月の帰参中に、この OpenAI の CEO である Samuel H. Altman 氏が来日し、日本の首相を官邸に訪問するニュースが流れていました。

ChatGPT は、2022 年 11 月 30 日に発表されました。

発表当初は「無料」で使用できるとのこともあってか（今も無料で使えます）、爆発的にユーザーが増えました。ロイターのニュースによりますと、発表後わずか 2 ヶ月間でユーザーが 1 億人に達したと推計されています。これは、TikTok が約 9 ヶ月、Instagram が 2 年半掛かったことと比較しても、どれだけ多くの人が関心を持ち、利用しているかを示しています。

その後、改良されて、今年（2023 年）3 月には GPT-4 が発表されています。但し、こちらは有料のようです。

「ChatGPT について簡潔に教えてください」と ChatGPT に尋ねましたところ、以下のよう
に返事がありました。

• ChatGPT は、OpenAI によって開発された大規模な自然言語処理モデルです。GPT は、

「Generative Pre-trained Transformer」の略語であり、トランスフォーマーと呼ばれる深層学習モデルを使用しています。ChatGPT は、人工知能と自然言語処理技術を利用して、人工的な対話や文章生成などのタスクを行うことができます。ChatGPT は、多くの人口知能アプリケーションや AI サービスで使用されています。

「Generative Pre-trained Transformer」の日本語訳は「生成可能な事前学習済み変革器」となるようです。つまり、今までのデータを蓄積して、それを基に回答するということです。

ただ、ChatGPT のデータは 2021 年 9 月までしか蓄積されておらず、それ以降、つまり 2021 年 10 月以降に関して質問すると回答を得られないことが生じます。

ですので、2023 年に発表された「ChatGPT-4（以下、GPT-4）について教えてください」と尋ねても「申し訳ありませんが、私の知識は 2021 年 9 月までのものですので、GPT-4 に関する情報は提供できません。最新の開発やリリース情報については、OpenAI の公式発表や関連ニュースをご参照ください」と返事がありました。

尚、同じ質問をしても同じ答えが返って来るとは限りません。その時その時によって、返事の内容が変更されるのは“人工的な対話や文章生成などのタスクを行っている”からでしょう。OpenAI の Website を覗きますと、GPT-4 に関して英語説明が書いてありました。それを ChatGPT に日本語訳してもらいました。

• GPT-4 はこれまで以上に創造的かつ協調的です。曲の作曲、脚本の執筆、ユーザーの文章スタイルを学習するなど、創造的で技術的なライティングタスクにおいてユーザーと共同で生成、編集、反復することができます。

• GPT-4 は画像を入力として受け取り、キャ

ブション、分類、分析を生成することができます。

• GPT-4 は、25,000 語以上のテキストを扱うことができ、長文のコンテンツ作成、長時間の会話、文章の検索と分析などの用途に使用できます。

これらの文章を読んでもらえれば、GPT-4 を使って何ができるのかが分かります。作曲でき、本が書け、それも作者の文章スタイルに近い文章が書けるようです。

また、イラストも描けます。あるソフトを使うこともあるのですが、そのソフトを使うためには英語で指示を出さなくてはなりません。そこで日本語で作成した指示文章を GPT-4 に英訳してもらい、その英文を使ってそのソフトを指示します。そうすると、そのソフトがイラストを生成してくれます。その過程の動画が YouTube に流れていますが、それを見ますと、写真と見間違ふようなイラストが生成されています。

その他、GPT-4 を使ってゲームソフトを開発することもできます。コマンド（指示）を何度か GPT-4 に入れて行けば、かなり凝ったゲームソフトが作れるようです。

私は最近、この ChatGPT を使って、日本語を英訳してもらつことがあります。また、英文法を確認してもらつこともあります。

日本語からの英訳に関しては、正直「凄いな」と思います。上手に翻訳してくれます。但し、時折気になる訳し方をします。その辺は人間の目で確認しなくてはなりません。特に、天理教の文章の英訳は、蓄積データが少ないのか、まだまだ不十分と言いますか、おかしな英訳が出てきます。

英文法の確認に関しては、きちっと訂正箇所を教えてくれ、その上、推奨する文面を示してくれますので、非常に有難いソフトです。今も使うことはありますが、違うソフトを使って英文法の確認をしていました。そのソフトでもきちっと英文法の間違いを指摘してくれますが、ChatGPT のように推奨する文章を示してくれることはありません。

ChatGPT で検索することもできますが、こちらはかなり“あやしい”精度です。私の

個人名を入れて誰であるかを尋ねると、かなり出鱈目な返事が返ってきました。日本語で尋ねたためなのかもしれませんが、日本語の ChatGPT には、まだまだ改良の余地があると思います。

このように使いようによっては、かなり便利な“ツール”だと思います。

ChatGPT も GPT-4 も間違いなく使うことができれば何も問題ありませんが、残念ながら、これらを悪用する人もいます。

例えば、先程、本が書けるようになると書きましたが、GPT-4 に卒業論文を書いてもらうことが可能になります。それも使いようによってはかなり高度な論文を作成してもらうことが可能なようです。

また、既にサイバー犯罪に関わるようなことが起きているそうです。ChatGPT を使って悪質な文章やコードを生成することができるので、それを悪用するのです。例えば、ChatGPT にフィッシングメールの文面を考えてほしいと指示しますと、そのような文面が出てくるとのこと。

OpenAI もそのことには気付いていて、ChatGPT を悪用されないための対策を講じているそうです。

しかし、これも“いたちごっこ”になっているとのこと。いろいろと“抜け道”があるようで、対策を講じれば、それに対応した悪用の仕方が生み出されているようです。

どのような素晴らしいテクノロジーであっても、結局それを使うのは“人”です。つまり、人の心の遣いによって、素晴らしいテクノロジーが陽気ぐらしのために使われることもあれば、逆のことも起きるのだらうと思うのです。

ですから、如何に人の心を陽気ぐらしのために遣ってもらえるのかが重要で、私たち天理教信仰者はその心を養い、また、そのような心を養ってもらえるようにこの教えを世界に広めて行くことが大切であることを認識して、日々通りたいものです。

深谷 洋

立教186年5月月次祭祭文

これの神床にお鎮まりくださいます親神天理王命の御前に天理教アメリカ伝道庁長深谷洋慎んで申し上げます。

親神様には、紋型なきところから、この世人間をお造りくだされ、約束の年限の到来と共に、教祖をやしろに貫い受けられてこの世の表に現れ、よろづ委細の元の理を明かし、たすけ一条の道をお付けくださいました。爾来、道は世界に伸び広がり、世界各地にたすけの御用に勤しむ者をお与えいただき、今日の姿をお見せいただいております。その中にも今日の吉日は、当伝道庁の五月月次祭を執り行う由縁の日でございますので、只今より、おつとめ奉仕者一同、勇み心と共に、座りづとめ、てをどりをつとめてさせていただきます。

御前には、今日の日を楽しみに参り集いましたよふぼく、信者一同が、日頃賜る親心に感謝して、尚も変わらぬ御守護にお縋りたいと、勇んでお歌を唱和する状をも御覧くださいます、親神様にもお勇みくださいますようお願い申し上げます。

昨日は、アメリカ婦人会がハイブリッド形式にて総会を開催することができまして、誠に有難うございました。今後も、全婦人会員が心を一手一つにして道の御用を勇んでつとめられますようお願い申し上げます。

また、今月二十七日、二十八日の両日には、学生会春季練成会を開催予定ですが、将来を担う学生達の心の成人の糧となりますようお願い申し上げます。

更には、来月月次祭後より、第八十五回アメリカ修養会を開講予定ですが、多くの志願者をお与えいただき、無事に開講できますようお願い申し上げます。

更にはまた、来月二十三日より二十五日まで、天理教フェイスカンファレンス・ソウルファイアを開催予定ですが、成功裡に終わられますようお願い申し上げます。

私共は、世上にお見せくださる事情を鑑みて、たすけの御用につとめる大切さを感得しながら、心新たにをいがけ、おたすけに励ませただく所存でございます。また、来年六月に迎えます当伝道庁創立九十周年記念祭に向けて、管内の心を一手一つに寄せて成人の道を歩みたいと存じます。何卒、親神様には、私共のこの真実の心をお受け取りくださいます、一日でも早く、世界の人々が睦み合って暮らせる世の状に立て替わりますよう御守護の程を、一同と共に慎んでお願い申し上げます。

5 月月次祭神殿講話

シータック教会長
長尾啓子

只今は5月の月次祭を庁長先生を芯に皆様方と共に陽気に勇んでつとめさせて頂き誠にありがたい限りでございます。

また昨日はアメリカ婦人会総会を2019年以来となります対面にて、会員心一つに結んで喜びの総会となりました。

本日は神殿講話の御命を頂きましたので4年ぶりに伝道庁に参拝させて頂きました喜びの心でつとめさせて頂きます。どうかお付き合いくださいますようお願い致します。

昨年10月に真柱様より論達第4号をお打ち出し下さり、私も3年ぶりに10月おぢば帰りをさせて頂き、じきじきの真柱様のお声に心から喜びと大きな感動を頂きました。

そして教祖140年祭に向けての通り方、成人の歩み方をお示し下さいました。

おさしづより「ひながたの道を通らねばひながた要らん(略)ひながたの道より道がないで」(明治22年11月7日)

とお示し下さり、ようばく一人一人が仕切って成人の歩みを進める時であり、三年千日の通り方はひながたを目標に教えを実践し、たすけ一条の歩みを活発に推し進める時であるとお示し下さいました。

できる人がすれば良いということではなく一人一人がしっかりと心定めを実行して、1日1日を通る事が年祭に向けての私たちの使命であると強く感じました。

そして私は10年一節としてお見せいただいたことを思い返しました。

「ふしから芽が出る」成ってくる姿はすべて人々を成人へとお導き下さる親神様のおはからいであります。どんな時も先の楽しみを信じて通り、喜びを探して通る事を教祖は身をもって教えて下さいました。

私事になりますがアメリカに来て来年で40



年になります。

教祖100年祭まで1年足らずの時でした。当時ワシントン州シアトルにありました、タコマ教会の名称をシータック教会と改め、私達は会長夫婦として事情教会を預かっていたことになり2人の幼い子を連れて渡米させて頂きました。そしてその15年後に今のタコマ市にほど近い所に移転が叶い、2回目の神殿部分のふしんを、事情をお見せいただきながら結構に移転奉告祭を迎えさせて頂きました。

その後会長に身上が相次ぎ私共周りの成人の上に沢山のおてびきをとおして神様から学ばせて頂きました。そして移転より10年目の2010年に会長の出直しの節をお見せいただきました。

成ってくる理の中に喜び探す事を神様からお示し下さいました。

私の産みの母は私が2歳5か月、妹が5か月の時に急性リュウマチの病名で一晩の内に直されてしまいました。

父が私達をご苦勞の中、神様一条のお心でお育て下さいました。

そのことを思えば私の3人の子供達は、20代で父親を理解し沢山の親の思いを繋いでいただけたことに感謝致しました。

そして私が会長のお許しを頂く事になりま

した。そしてその2年後に私自身も母と同様に体の痛みが突然おき命も危ぶまれる中、おさづけを頂き、神様に助けて頂き一生忘れることのできないありがたい節をお見せいただきました。

後に病名は、fibromyalgia(線維筋痛症)と分かり激しかった痛みや咳も年々減ってきており有り難い日々でございます。

みかぐらうた 三下り目 ハッ

やむほどつらいことハない

わしもこれからひのきしん

とあります。

日々のおつとめを通して感じさせて頂く、少し神様から痛みと咳を残して下さり日々神様からのご恩を忘れないように、助けていただいた元を忘れずに喜んでつとめさせていただきます。ありがとうございます。

私は小さい時から自分の思いを素直に伝えることができない性格で心にためてしまいがちでした。

そして用事も人に頼むより自分でしてしまいがちでした。この様々な節を通して心の持ち方を大きく変わらせていただくこととなりました。

おたすけを通して笑顔を大切に人の話に耳を傾けて受けとめる事の大切さを学びました。

私自身の年齢とともに世代交代でもある中、教会活動の上にみんなで話し合い次世代を中心に小さい少年会も育ち、歩ませていただいていることにありがたく思わせて頂いております。

話は変わりますが、今回のコロナ禍を通して神様、教祖にお連れ通り頂いたお話しをさせていただきます。

2021年に信者さんで97歳の女性のもとてもお元気な方が、施設で具合が悪くなられて病院に運ばれてコロナ感染であることが分かり、感染の強い時でしたので、だれも病院に入れない状況の中、入院より3日足らずのうちにお出直しされるという事態となり、葬儀場に運ばれてお会いできない中、何とかみたまう

つしをと思い娘が掛け合ってくれまして2週間後に時間制限の中、心を込めてみたまうつしをさせていただくことができませんでした。

親神様、教祖のおかげにほかならないと思えました。

ご本人の長年の信仰の賜物であるとも思いました。

またコロナ禍の中、お一人でお家でお住いの82歳の女性の信者さんが、いつも教会へ野菜を届けて参拝くださり、人の御用の上に一生懸命につくされる方がコロナ禍により人と会うことが減り、好きな畑仕事も出来なくなり、家の中での生活がほとんどになりました。

電話をしたり家にも様子を見ながら訪ねたりしておりましたが、昨年12月に入り、家の中が散らかり汚れてきていましたので、年の瀬迫る12月27日に私共の部内の布教所長さんと2人で行かせて頂きました。

私は気持ちはどうしても今年中に行かなければ何か背中を押されてる思いでした。

ドアをノックしても電話しても繋がらず、そうこうしてるうちに、私は何かに押されるようにベットルームの窓を叩き彼女の名前を大きな声で呼びました。



その時、「会長さん窓を壊して助けて。」と声が聞こえました。動けない状態であるために救急車を呼び、そして救急隊員の人が小さい窓をはずして中に入ってドアを開けて私達も入り、彼女はベットのわきに落ちて横たわって倒れていました。2～3日その状態であったことを話されました。直ぐに病院に運ばれて、私達も追いかけて行くと、たくさんの人が待っている状態で長い時間待つ中、彼女は大きな声を出したり歌ったりと私達は側で寄り添っておりました。何とか夜に病室に入れてドクターに会い詳しい検査をする事になり、おさづけを取り次がせて頂きました。

翌日に病院に行くと、ドクターから小さいストロークを何度かされていたことが分かりました。

そしてお話もできない状態になって眠っている中、治療もかなわず3週間後にお出直されました。彼女の最後の言葉が、「会長さんありがとう。」でした。教祖にお連れ通りいただきお礼申し上げる気持ちでいっぱいでした。

彼女はよく自分の家族は孤独死であったり変死の因縁があると言っていました。そのことを思うと、年末に訪ねなければ床に倒れたまま誰もいないところでとんでもないことになっていたと思いました。

まだまだ御用の上にもお通り頂きたい方でしたが、暖かいベットの上で看護の整ったところで眠ったままではありましたが、いろいろな人に会える時間を神様から頂き、様々な思いの中ではありましたが、みたまうつしもさせていただけただけなのに、成ってくる理を喜ぶ姿をお見せいただきました。

今回の感染を通して神様に守っていただく理を積ませていただく事の大切さを感じる事となりました。信者さんで施設に入られる事となり、家に神様を祀られていた方で、施設は狭い個室ですが、神様もお鎮めさせていただきました。

そしてコロナが始まり外にも出られず、人にも会えないことが続き、差し入れの品物も外において電話で話す状況が続きました。

今は私も中に入れるようになり、お話しをしたときに、「こうして神様に手を合わせて日々お見守り頂けていることに大変ありがたい。」と話されていました。

頑張っておられる姿に涙が出ました。

みかぐらうた 九下り目 ニツ

ふじゆうなきやうにしてやろう

かみのこゝろにもたれつけ

とあります。

お歌を通して、無理な願いに対して真実の心で神様へすがる気持ち、そしてしっかり持たれきる心になれること、そして定めたことへ実行していく事が大切だと思います。

私共の教会の先代で、沢山の人の心を導きし信仰に導かれた辻本エイ三代会長様の50年祭を、今年つとめさせて頂きました。改めて先人の思いをしっかりと次の世代へ伝え歩ませていただく事をお誓いした次第でございます。

諭達の最後にあります、「教祖お一人から始まったこの道を、先人はひながたを心の頼りとして懸命に通じ、私達へとつないで下さった。その信仰を受け継ぎ、親からの子、子から孫へと引き継いでいく一步一步の積み重ねが、末代へと続く道となるのである。」

次の世代と共に、楽しみの道として親孝心を忘れずにちばに心を繋いで、おつとめに、そしておたすけにと一日一日、一步一步しっかり歩ませていただきたいと思ひます。

伝道庁創立90周年まで1年程となりました。教内外において、信仰の喜びを伝え広められるよう取り組み、勇んで通らせて頂きたいと思ひます。

本日は御清聴ありがとうございました。



TSA 春季練成会





伝道庁連絡



5 月月次祭

祭主 庁長
 扈者 田中知義 林 孝彦
 賛者 清水ロバート 雪本スティーブン
 指図方 長谷川邦昭
 神殿講話 長尾啓子（日）

教会事情

ノウスアメリカ教会

任命願、臨時祭典願、
 恒例祭日臨時変更願、教会所属変更願

おはこび：2023 年 7 月 26 日

奉告祭：2023 年 10 月 1 日

ヘリテイツ教会

遷座祭日願、神殿屋根葺替願、臨時祭典願

おはこび：2023 年 7 月 26 日

鎮座祭：2023 年 9 月 8 日

奉告祭：2023 年 9 月 9 日

第 85 回アメリカ修養会

本年予定しておりました第 85 回アメリカ修養会は、志願者がいなかったことにより不開催とさせていただきます。

アメリカ一れつ会新規扶養生募集

2023 年のアメリカ一れつ会新規扶養生の募集を開始します。対象は、管内教会長、布教所長、出張所長の子弟子女で、大学入学が決まっている方です。扶養を希望される方は、伝道庁に願書を用意しておりますので、ご連絡下さい。願書締切は、6 月 30 日（金）です。新規扶養生は 8 月伝道庁月次祭時に発表致します。尚、2、3、4 年目の扶養生は、願書の提出はありませんが、休学、転校等があった場合、8 月 31 日までに必ず伝道庁までお知らせ下さい。

天理教語学院（TLI）日本語科入学願書 及び志願者のための一れつ会扶養願書

2024～2025 年の「天理教語学院日本語科入学願書」と「日本語科志願者のための一れつ会扶養願書」が伝道庁に届いています。出願期間が下記の様になっていますので、入学を希望される方は 8 月末までに伝道庁までご連絡下さい。

日本語科入学願書

出願期間：2023 年 8 月 15 日～9 月 20 日

（日曜、祝祭日除く）

願書費用：一部 5 ドル

一れつ会扶養願書

出願期間：2023 年 8 月 15 日～9 月 20 日

願書費用：無料（日本語科志願者のみ）

伝道庁宿泊

伝道庁大祭・月次祭の第 3 日曜日の週末に伝道庁での宿泊を希望される方は、宿泊月の第 2 日曜日までに食事・宿泊の申し込みを必ず書記までご連絡ください。

「諭達第四号」頒布のお知らせ

おぢば：小冊子 1 冊 50 円、掲示用（A3 サイズ）1 枚 30 円。道友社本社、おやさと書店、東京支社で取り扱います。頒布時間は各店の営業時間に準じます。外国語版は、おやさと書店で頒布します。

伝道庁：小冊子 1 冊 50 セント。

英語 / 日本語以外の言語についてはお問い合わせください。

各会連絡

ふしん委員会

- ・バイオトープガーデンの雑草除去作業を始めております。除草剤や手で抜く作業を行います。
- ・MP ホールとグリーンハウスの間の壁の撤去を計画しています。
- ・セキュリティーカメラは、伝道庁スタッフにより設置される予定です。

教化育成委員会

- ・今年の 12 月末に、対面式でのおやさと練成会の事前研修を伝道庁で行うことを企画しています。来年おぢばで行われるおやさと練成会に参加するためには、この事前研修に参加することが必須となります。現在、対象の学生に連絡をとっていますが、もし興味がある方をご存知でしたら伝道庁までお知らせください。
- ・TSA 春季練成会には、7 名の学生と 4 名のスタッフが参加しました。

広報委員会

- ・90周年に向けた活動のアイデアを管内の方々が共有できるようにとの思いで、実際に活動している方々の情報を「一れつ・ニューズレター」に連載しております。つきましては、各教会・布教所・地区、また身の周りの方々の活動情報・写真等の提供をお願い致します。

情報提供先：川上 (kamishuyo@hotmail.com)
林 (takhayashi@gmail.com)

- ・祭典講話のWebsiteへの掲載が遅れておりましたが、動画編集スタッフの育成により、昨年12月までの講話が掲載出来ました。引き続き遅れないように努力していきます。
- ・Tenrikyo Online Bookstoreについて Big Cartel を使用する

婦人会

- ・アメリカ婦人会は、2024年に創立70周年を迎えます。諸先輩方がお通り下さった尊い歩みに感謝し、更なる歩みを親神様、教祖にお誓い申し上げるべく2023年、1年をかけて「アメリカ婦人会創立70周年記念おちばがえり」を実施致します。おちばへお帰りになられた方は、是非お名前をお知らせください。



少年会

- ・子供おちばがえりのジェネラルグループ、少年ひのきしん隊の申込締め切りは6月18日(日)です。

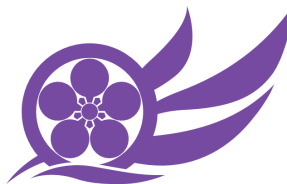
- ・少年会おつとめまなび総会:対面で8月19日(土)に開催します。対面で参加できない少年会員、ご父兄の皆様もオンラインで少年会長様のご告辞をご拝聴ください。
- ・縦の伝道講習会：少年会本部より久保一元委員をお迎えし、8月20日(日)に開催します。
- ・おつとめ着や子供おちばがえりのTシャツ等、寄付していただける物があればお知らせください。(moto1884@icloud.com)
- ・「みちのこ日めぐり」の英語版を各教会、布教所、出張所に一部ずつお送りしています。足りない場合はお知らせください。各家庭一部まで。
- ・日々に教えの読み聞かせを「Let's Learn the Teachings!」(\$3.50)「Let's take a moment」(\$4.00)郵送をご希望の方は团长までご連絡ください。
- ・少年会ハッピーの購入をご希望の方はご連絡ください。サイズによって\$20- \$30でお分けしています。郵送可。
- ・サンデースクールを再開しました！スタッフとしてお手伝いいただける方がおられましたらご連絡ください。(moto1884@gmail.com)

青年会

- ・アメリカ青年会総会
7月15日(土)午前11時 於：アメリカ伝道庁

NYセンター

- ・6/19 平野陽子(婦人会人材派遣)
角田悠子(郡山大教会派遣) 帰任
- ・7/21-27 日本語教師養成講座開催



全教一斉ひのきしんデー



ボイルハイツ地区



オレンジ地区



シカゴ地区



サンフランシスコ地区



カナダ西部地区

TENRIKYO MISSION HEADQUARTERS IN AMERICA
2727 EAST FIRST STREET
LOS ANGELES, CA 90033

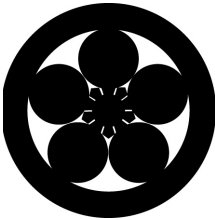
NON-PROFIT ORG.

U.S. POSTAGE
PAID

LOS ANGELES, CA
PERMIT NO. 30002

CHANGE SERVICE REQUESTED

THE JOYOUS LIFE



TENRIKYO came into existence on October 26, 1838, when God the Parent, Tenri-O-no-Mikoto, became revealed through Oyasama, Miki Nakayama, to save all humankind. God the Parent is the original and true Parent who not only created humankind but has nurtured and protected human beings ever since.

God the Parent created humankind so that by seeing us live the Joyous Life, God could share in our joy. The living of the Joyous Life is, therefore, the purpose of our existence. Since God the Parent is our Parent, we are all God's children, and thus we could realize that we are all brothers and sisters.

“With human beings:the body is a thing lent by God, a thing borrowed.
The mind alone is yours.”
Osashizu:June 1, 1889

We are taught that our bodies are borrowed from God the Parent and only our minds belong to us and, by the proper use of our minds, we will be able to live the Joyous Life